

強震動委員会は、1996年5月の発足以来、学会内外に向けて様々なアウトリーチ活動をおこなっています。

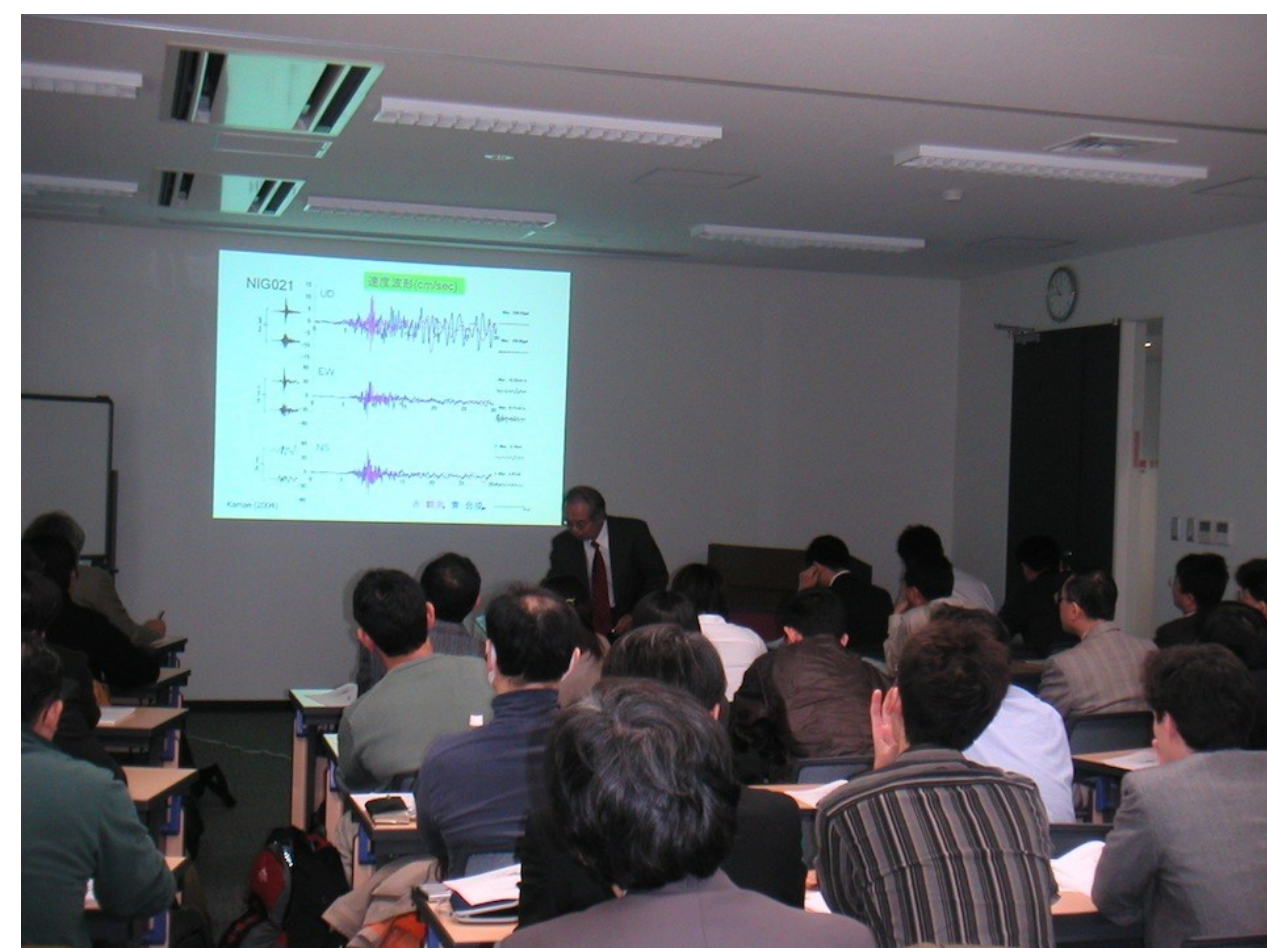
強震動講習会

2001年度より、「強震動予測—その基礎と応用」と題した講習会を会員・非会員を対象に毎年続けています。現在は日本地震工学会、日本活断層学会と共催しており、実習形式を試みるなど好評を博しています。2018年11月26日には、「微動を利用した地下構造のモデル化」について、第18回講習会を実施予定です。

最近の各講習会のテーマ

講習会	テーマ	()は陽には示さなかったテーマ
11	長周期地震動のモデル化と2011年東北地方太平洋沖地震で得られた知見	
12	地震動計算:理論と実習(座学とGMSを用いた有限差分法計算の実習)	
13	地震動計算:理論と実習 その2-波数積分法による地震動計算	
14	地震動計算の現状と課題, モデル構築の高度化に向けて	
15	地震動計算・理論と実習(座学とGMSを用いた有限差分法計算の実習2)	
16	活断層を対象とした地震動予測の現状と断層近傍強震動の計算実習	
17	強震動予測手法と地盤構造のモデル化	
18	微動を利用した地下構造のモデル化	

講習会の様子



第18回講習会(2018/11/26)の予定

東工大 田町キャンパスイノベーションセンター 国際会議室
「微動を利用した地下構造のモデル化」

- ・地盤における微動観測の実際
- ・微動水平上下スペクトル比の基礎と応用
- ・微動アレイ探査(理論・基礎マニュアル編)
- ・微動アレイ探査(実践編:準備~地下構造の推定)

ニュースレターでの連載記事

「強震動地震学基礎講座」(1997年3月~1998年10月、全9講)、「強震観測の最新情報」(1998年1月~2002年3月、全23回)を連載しました。現在、2017年1月より「新・強震動地震学基礎講座」を連載中。下記HPでご覧になれます。

強震動研究会

年に1、2回のペースで、秋季大会または委員会開催に合わせて関連他分野から講師を招いて研究会を実施し、一般にも公開しています。2018年10月8日(月・祝)には、郡山市中央公民館にて第33回目となる研究会を開催しました。

最近の研究会のテーマ

回	日付	講演者	題目
30回	2017/02/20	高橋成実	DONET加速度計記録による堆積層の増幅率
31回	2017/10/24	小林哲夫	活火山とカルデラ火山—火山災害の実例と噴火予知・予測の現状—
32回	2018/03/05	武村雅之	復興百年誌:石碑が語る関東大震災
33回	2018/10/08	中村 晋	社会基盤施設の設計・設計地震動に関する動向と課題—ポスト 2011年東北地方太平洋沖地震—

大会セッション企画など

強震動研究を中心とした関連研究分野における議論の充実を図るため、学会大会等における特別セッションを企画提案しています。セッション提案は他学会と共同で行うこともあります。日本地球惑星科学連合大会では、2014年「微動探査の近年の発展」、2015年「兵庫県南部地震から20年:活断層と強震動に関する研究の進展」、2016年「K-NET運用開始から20年:強震観測網のこれまでとこれから」、2017年「震源域近傍強震動の成因解明と強震動予測への展開」のセッションが設けられました。また、2018年12月には、第15回日本地震工学シンポジウムにて、セッション「長周期地震動から断層近傍パルスまで:予測と対策に向けて」を予定しています。

出版

委員会における活動の中から、「地震の揺れを科学する—みえてきた強震動の姿—」東京大学出版会(2006)が上梓されました。

ホームページの運営

委員会ホームページで最新情報から過去ログまでを配信しています。詳しくは強震動委員会ホームページをご参照下さい。

URL <http://www.zisin.jp/kyosindo/kyosin.html>



QRコード 強震動委員会HP

